

環境活動レポート

2017



作成：2017年7月31日

Time with pride.

ひたむきに、歩み続ける。



目次

- 1.事業活動の概要
- 2.対象期間・対象範囲
- 3.ISO14001 認証
- 4.環境方針
- 5.環境体制の組織図
- 6.環境目標と実績
- 7.主な環境活動
- 8.環境関連法規の順守状況



1. 事業活動の概要

事業所名：株式会社ムーンスター

代表取締役：猪山 渡

創 業：明治6年（1873年）10月20日

資本金：13億円

売上高：394億円（平成28年6月期）

従業員：869名（平成28年6月期）

業 種：スニーカー、紳士靴、婦人靴、スポーツ用品の製造・販売

経営理念：すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために

2. 対象期間・適用範囲

対象期間：2016年7月1日～2017年6月30日（当社、第90期）

適用範囲：福岡県久留米市白山町60番地

活動範囲：靴の設計・開発及び製造

3. ISO14001：2015 認証



登録認証番号：JQA-EM1141

登録事業者：株式会社ムーンスター

本社

福岡県久留米市白山町60番地

登録日：2000年12月1日

4.環境方針

株式会社ムーンスターは“すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために”を経営理念として、全てのお客様が「笑顔」になれる靴、「しあわせ」を感じる靴をお届けできるよう全社一丸となって取り組んで参ります。

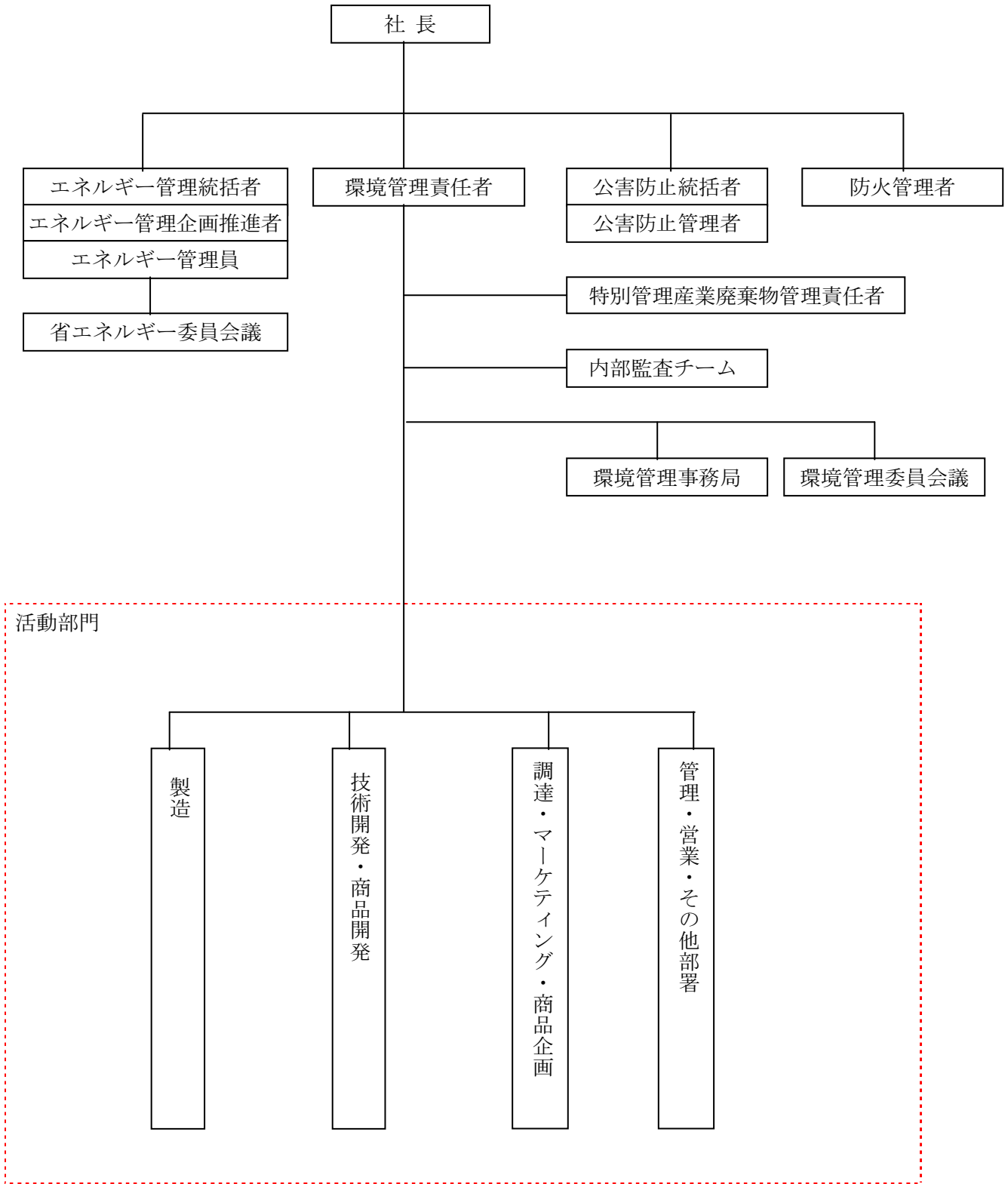
そして、環境に優しい事業活動を全員参加で取り組み、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に努めます。

1. 事業活動による環境影響を把握し、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行い、環境の汚染予防と継続的な改善に取り組みます。
2. 環境法令・協定及び同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 靴の開発から生産、消費、廃棄に至るすべての段階に考慮した環境負荷の低減を図っていきます。
4. 環境負荷低減型の商品作りを進めます。
5. 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減及びリサイクルの推進に努めます。

この環境方針は、社内に周知徹底するとともに一般の方々にも公開します。

平成 26 年 4 月 1 日
株式会社ムーンスター
代表取締役社長 猪山 渡

5.環境体制の組織図



6. 環境目標と実績

各グループにて、目標を設定し活動を実施しました。

下記は環境に関係の深い、代表的な取り組みの目標達成状況です。

【当社 第90期(2016年7月～2017年6月)の取り組み目標と実績】

取り組み目標	実績	評価
産業廃棄物の原単位 10%削減	目標値比 97%の実績で目標達成	○
燃料使用量の 1%削減	生産の増加により達成出来ず	△
環境負荷低減型の商品を 1 品種以上開発	2 品種の開発を実施	○
溶剤糊を水性化へ変更	4 品種変更済み	○

★ 溶剤糊を水性化する事で、製造における環境負荷を低減しています。

- ※ 評価：◎＝目標を大幅に上回る成果があった
 ○＝目標を達成、順調に推移した
 △＝積極的に取り組んでいるが目標達成出来ず
 ×＝活動が不十分で目標未達成

当社、第91期(2017年7月～2018年6月)の環境目標は、産業廃棄物の削減、省エネルギー、環境負荷低減型の商品開発、…等に取り組めます。

【環境配慮型の商品】

地球環境について考え、
エコロジーな靴を作りました。

地球にも足にもやさしいシューズです。

地球環境に配慮して、500ml PETボトル1本分の素材を靴の一部に再利用し、限りある資源の有効活用に努めています。

環境負荷低減型商品
 (リサイクルPET素材使用)



(株)ムーンスターは、温室効果ガス削減のために、環境負荷低減商品を提案します。

7. 主な環境活動

(1) 美化運動

久留米本社では、ボランティア活動として工場周辺の清掃活動や花いっぱい運動を定期的に行っています。

また、6月4日に自治体主催の美化キャンペーンにも参加しました。



(2) 緊急事態への対応

ムーンスターでは、年3回、消防総合訓練(消火訓練、通報訓練、避難訓練)を実施しています。

自衛消防隊による消化訓練や消火器の使い方等の訓練をおこないました。

また、タンクから有機溶剤が漏れたという想定での緊急事態訓練も、実施しています。

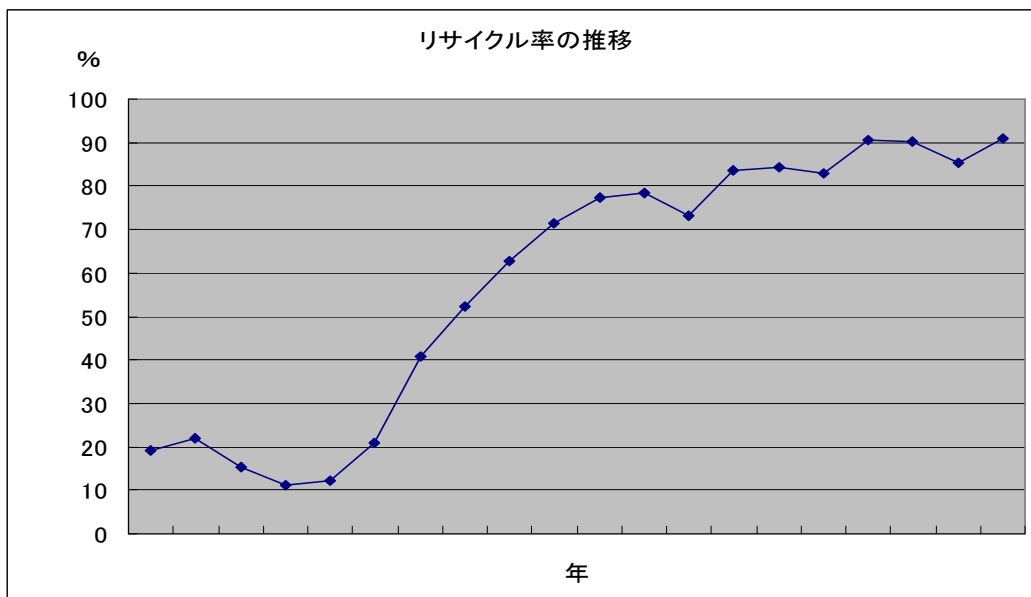
(3) リサイクルの推進

持続可能な循環型社会の構築のために、リユース・リサイクルを推進し、最終埋め立て処分量をゼロとする廃棄物ゼロエミッションに取り組んでいます。

久留米工場から出る産業廃棄物のリサイクル率は、昨年85%でしたが、今年は92%になりました。

これは社内から出る産業廃棄物の分別回収を進めてきた結果であり、再資源化(リサイクル)する事が出来ました。

今後も産業廃棄物の削減、リサイクルの推進及びライフサイクルでの環境負荷低減を継続的に続けていきます。



(4) 緑化の推進

工場立地法への対応及び生物多様性に配慮し、工場内の駐車場に「さつき」を植樹しました。

また、工場内の土の部分には、花を植えて緑化を推進しています。



【駐車場のさつき】



【工場内の緑化】

(5) 工場排水の水質検査結果

定期的に工場排水の水質検査をおこなっておりますが、平成 28 年 10 月に久留米市による工場排水の抜き打ち検査がありました。

結果は下記の通り協定値内で問題はありませんでした。

今後も工場排水の水質保全管理を継続していきます。

項目	基準値	第一工場 の排水	第二工場 の排水
水素イオン濃度(PH)	6.0～8.4	7.0	6.4
生物化学的酸素要求量(BOD)	10 以下	2.4	2.8
浮遊物質質量(SS)	15 以下	1	1
油分(ノルマルヘキサン抽出物質)	2.5 以下	<0.5	<0.5

単位：PHは無し。それ以外は mg/ l。

8. 環境関連法の順守状況

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はなく、関係当局からの指摘、指導もありませんでした。

以上